

Gyutto 編集会議@研いでみよう!



天然砥石たち

実は世界が注目!! 亀岡の天然砥石

亀岡は世界に誇る天然砥石を生産しているって知ってた?
ここは昔から質、量ともに群を抜く砥石の産地。今春には砥石館もでき、ますます注目を浴びそう。

編集長 切れなくなった包丁はどうして
る?

まゝ 買い替えてる。

編集長 それはもったいない。ほんの少しの時間で驚くほどの切れ味がよみがえるのに。

メグ えくなに?

編集長 包丁を砥石で研ぐの。

まゝ へえ、すごいね。で、砥石って何?
メグ そこか!

と言うことで、やって来たのは、亀岡市交流会館内(宮前町)に開館した「森のステーションかめおか 匠ビレッジ天然砥石館」。館長の上野大成さんに教えていただきました。



レタスの断面がすぐに茶色に変色するのは、切れない包丁だから。切れる包丁だと料理の味まで変わるよ!

研いで使うと包丁に愛着が湧くね

発見!
包丁は研ぎが命!!

料理を作るのも楽しくなりそう!

百均の包丁もよく切れるようになるよ

信じられない! 週に1回は研いでほしいな

22.5度!



包丁と砥石があたる角度は22.5度にキープして

電マニア

天然砥石の何がすごいのか?

日本の美しい木造建築には**鉋**。世界が注目する和食には**和包丁**。もはや芸術品の域に到達した日本刀。これらを支えているのが**天然砥石**なんだ。

電マニア

7万円でもらえる!?

土橋さんの砥石は、亀岡市のふるさと納税を7万円以上した人の謝礼品の一つになっているんだって。

ととりやものがたり

マスコミ取材で認知度アップ!



天然砥石館を運営する日本研ぎ文化振興協会代表理事 土橋 要造さん (66)

近年テレビ、ラジオ、雑誌に引っ張りだこ。4月には、ものまねタレントのロケットさんもテレビ取材でやって来た。

研ぎの文化に誇り

亀岡で唯一、天然砥石の採掘・加工・販売を行う。明治10年創業の砥取家4代目堀匠として40年。「研ぎの文化を100年後にも残していかなければ」という気持ちで仕事をしています。

2億5千万年前の奇跡

ハワイよりまだ南。南太平洋の深海底にある2億5千万年前の地層が、プレートに乗って日本列島に運ばれ、この亀岡で隆起したのが、土橋さんが採掘する丸尾山の砥石。

インターネットが廃業の危機救う

亀岡には良質な天然砥石が採れる山が多くあり、一大産地として栄えていた。しかし昭和30年代に急速に普及した人造砥石に押され、職人たちは姿を消した。厳しい状況の中、家業を守り続けた土橋さんも15年前には廃業の危機に。それを救ったのがインターネット販売。良質な天然砥石は世界中の職人たちの注目を集め、「今では世界40カ国の大工や楽器職人、料理人から注文がある」という。

国内にも根強いファン

有名店の料理人はもとより、北海道から理髪店の店主がわざわざ訪ねてくるほど国内にもファンは多い。「体力が続く限り掘り続け、後世に良品を残したい」という。

砥石に惚れ込んだ館長さん!



3年前に買って以来、研いだことない(汗)

館長の上野さんは、世界に誇る日本の文化を無くしたくないと、長年勤めた会社を退職し、亀岡に移住して研ぎの文化を発信しているのだ!

森のステーションかめおか

匠ビレッジ 天然砥石館



天然砥石と研ぎの文化の魅力を伝えていく展示・体験型観光施設として、今年4月にオープン。

亀岡で産出された天然砥石のほか日本全国、海外で産出された貴重な

砥石を展示。包丁研ぎ、鯨節削りなど研ぎの文化が体験できる。

【セルフ研ぎ体験】

大人 500円 中学生以下 300円

亀岡市宮前町神前長野15

TEL: 050-3700-1014

定休日: 火・水 (祝日の場合は営業)

開館時間 10時~16時



砥取家 (ととりや)

亀岡市東本梅町大内上条20

0771-26-2545

http://www.toishi.jp/